

# 更なるごみ減量にご協力を!!

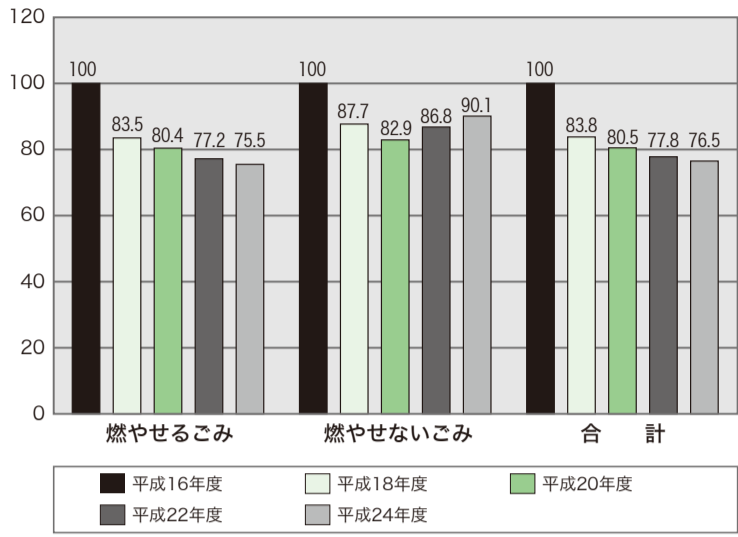
## 平成24年度清掃概要が完成しました!!

平成17年10月から、ごみ処理経費を負担することによって、ごみについての意識を持っていただき、ごみ減量につなげることを目的として、燃やせるごみ・燃やせないごみの指定収集袋による有料化を実施しました。これにより、今まで以上のごみ減量を達成し、以降着実にごみの減量が継続しています。今後も更なるごみ減量に向けて、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

しかし、このところ燃やせないごみ等の排出量が増加傾向となっており、そのため、新たなごみ減量方法として、使用済小型家電の資源化について、様々な検討を行っています。皆さまにごみ減量にご協力いただくと同時に、市としてもごみ減量に取り組んでまいります。

狛江市では、市内でごみを処理することができないため、稲城市にあるクリーンセンター多摩川で焼却し、焼却後に残った塵を日の出町にある東京たま広域資源循環組合でエコセメントとしてリサイクルしていただいております。ごみを処理するためには、狛江市以外の地域にご協力いただいております。また多額の費用もかかっています。ごみ減量に終わりはありません。今後、ごみ減量に協力をお願いします。

### ごみ収集量の推移 (平成16年度を100とする)



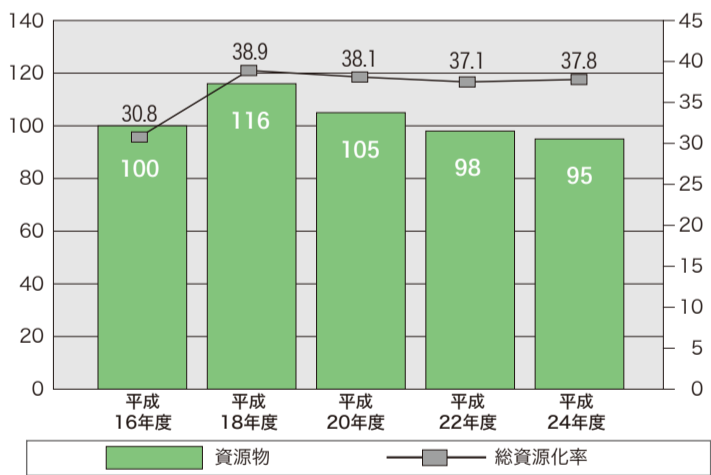
(単位:t)

	燃やせるごみ	燃やせないごみ	合計
平成16年度	15,684	1,120	16,804
平成18年度	13,099	982	14,081
平成20年度	12,606	929	13,535
平成22年度	12,105	972	13,077
平成24年度	11,843	1,009	12,852

### 清掃概要をご覧ください

清掃概要は、これまでのごみ処理のあゆみや、ごみ処理費用、ごみや資源物の収集量等、狛江市のごみ処理をまとめた冊子です。清掃課等で一部40円で販売しているほか、狛江市ホームページからもダウンロードすることができます。ぜひご覧ください。

### 資源物収集量の推移 (平成16年度を100とする)



	資源 (t)	総資源化量 (t)	総資源化率 (%)
平成16年度	4,537	8,023	30.8
平成18年度	5,249	9,302	38.9
平成20年度	4,784	8,722	38.1
平成22年度	4,465	7,967	37.1
平成24年度	4,325	7,834	37.8

## ごみをするより地球にやさしく

ごみとして処理するにしても、リサイクルしても環境に負担をかけ、多額の費用がかかることには変わりありません。地球上にある資源には限りがあります。これを次の世代に引き継ぐために一人ひとりができることをやることが必要です。

#### POINT 1 断る

ごみを増やさないために、不要なものはもらわないよう、断る勇気も必要です。



本のカバーや不要な包装は断る。



買い物をするときは、ビニール袋ではなく持参した袋(マイバック)を利用する。

#### POINT 2 選ぶ

ごみが余分に増えないように用途を考えて、ものを選びましょう。



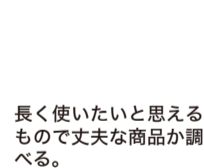
トレイにバックされた商品より、ばら売りされたものを選ぶ。



洗剤、調味料、ボールペンなどは詰め替えのきく商品を選ぶ。

#### POINT 3 調べる

修理がしやすいか等、長く使えるか調べましょう。

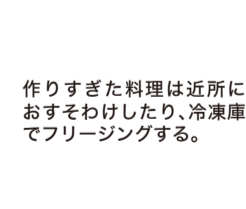


長く使いたいと思えるもので丈夫な商品か調べる。



#### POINT 4 捨てない

「もったいない」と思う心を大切に、捨てない工夫をしましょう。



作りすぎた料理は近所におすそわけしたり、冷凍庫でフリージングする。



### ●ごみ減量のための4R運動に取り組みましょう

- Refuse (リフューズ)** .....とは、ごみになるものを買わない、断ること。
- Reduce (リデュース)** .....とは、ごみの量を減らすこと。
- Reuse (リユース)** .....とは、使ったものを廃棄せずに、そのまま使うこと。
- Recycle (リサイクル)** .....とは、使用後廃棄せず再度資源として利用すること。  
リサイクルするためには多くのエネルギーと多額の費用を要します。